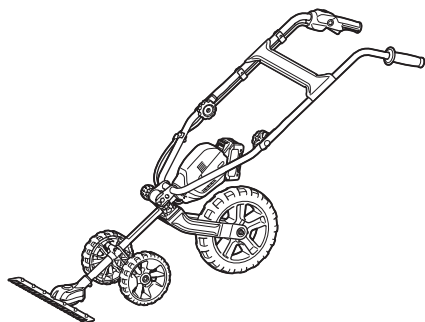


Makita

取扱説明書

充電式 グラウンドトリマ

モデル MUG001G



このたびは充電式グラウンドトリマをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	4
各部名称	22
標準付属品の確認	23
別販売品のご紹介	23
その他	24

ご使用前の準備

組み立て	25
バッテリーの充電	32
バッテリー/充電器の取り扱い	33
使用前に知っておいていただきたいこと	34

使い方

バッテリーの取り付け/取りはずし方	36
本製品の操作	37
・ ブレードカバーの取りはずし/取り付け方法	39
・ 刈り高さの調整	40
・ スイッチの操作	44
・ シャープブレードへの注油	45
・ 刈り込み方法	46
使用後の取り扱い	48
・ 本製品の保管	48
・ 運搬方法	50

保守/点検

お手入れ	51
消耗品の交換/補充	53
故障かな?と思ったら	64

充電式グラウンドトリマ 保証書……裏表紙

はじめに

主要機能

主要機能		モデル	MUG001G
電動機		DC ブラシレスモータ	
使用可能バッテリー		リチウムイオンバッテリー 「別販売品のご紹介」を参照ください。	
電圧		直流 36 V (40 V max) ※	
刈り込み幅		500 mm	
刈り高さ		約 25 mm ~ 約 105 mm	
ストローク数 (カット数)	低速	1,500 min ⁻¹ (往復 / 分) (3,000 min ⁻¹ (回 / 分))	
	高速	2,000 min ⁻¹ (往復 / 分) (4,000 min ⁻¹ (回 / 分))	
防じん・防水保護等級		IPX4	

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

本製品の重量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4020	9.7 kg	ハンドル高さ「標準」※ 1 1,262 mm × 521 mm × 913 mm
		ハンドル高さ「高」※ 1 1,155 mm × 521 mm × 1,020 mm
		ハンドル高さ「低」※ 1 1,345 mm × 521 mm × 791 mm
BL4080F	10.9 kg	ハンドル折りたたみ時（横置き）※ 2 898 mm × 534 mm × 471 mm
		ハンドル折りたたみ時（縦置き）※ 2 599 mm × 534 mm × 905 mm

※ 1：バッテリー装着時／非装着時、ブレードカバー非装着時

※ 2：バッテリー非装着時、ブレードカバー装着時

1 回の充電での連続運転時間（無負荷時）

使用バッテリー 項目	BL4040F (容量 4.0 Ah)
連続運転時間※	低速：約 160 分 高速：約 90 分

※：連続運転時間は満充電時の目安です。気温や作業条件により異なります。

本製品（充電器は除く）は、雨の中での使用に耐えうる製品仕様となっておりますが、故障しないことを保証するものではありません。以下のことに注意してください。

安全上のご注意

- ・ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
 - ・感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ・「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。
-

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

- 1** 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2** 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- 3** 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- 4** 落雷の恐れがある場合は製品を使用しないでください。
 - ・ 感電ややけどの恐れがあります。
- 5** 子供が充電工具で遊ばないように注意してください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
- 6** 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
- 7** アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

- 1** 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

⚠ 警告

- 2 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
- 3 充電器は、雨中や湿気の多い所で、充電したり、保管しないでください。
 - ・ 充電器内部に水が入り、感電や発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- 4 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
- 5 使用環境に適した延長コードを使用してください。
- 6 充電工具、バッテリーは、雨の中に放置しないでください。
 - ・ 感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 7 雨の中で、バッテリーを製品からはずさないでください。
 - ・ 感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 8 濡れた手でバッテリーの端子や充電器の電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
- 9 USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

 **警告****作業者に関する安全事項**

- 1** 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたり、妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

- 2** 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

- 3** 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。

- 4** 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

- 5** 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

- 6** きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

- 7** 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

- 1** 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
- 2** スイッチに異常がないか点検してください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
- 3** 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
- ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
- 4** 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーを付けて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。

警告

- 5** 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

- 6** 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

- 7** 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引き出すよう、最適に設計されています。

- 8** 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

- 9** 清掃の際は、バッテリー部、モータ部、電気接続部へ水を侵入させないようにしてください。

バッテリーに関する安全事項

- 1** バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・スイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。

- 2** バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

警告

- 3** マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具体体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
- 4** バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
- 5** 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
- 6** バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 7** バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
- 8** バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 9** 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 10** バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発熱、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

- 11** バッテリーの内部に塩水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に塩水のような導電体が侵入すると、感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 12** 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 13** 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
- 14** 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 15** バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
- 16** 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
 - ・ 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。
- 17** バッテリーに切りくず、ホコリ、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

⚠ 警告

整備

- 1 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

- 1 保守や点検は雨を避けられる場所で行ってください。
- 2 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙、発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

- 3** 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

- 4** 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

- 5** ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災の恐れがあります。

- 6** 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニルなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・綿ほこりなど、ホコリの多い場所で充電しないでください。

- 7** 使用直後は製品の端子部に触れないでください。
 - ・熱くなっているため、やけどの恐れがあります。

- 8** 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 9** 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

- 10** 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

11 正しく充電してください。

- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・周囲温度が 10 °C 未満、または周囲温度が 40 °C 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

12 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・感電の恐れがあります。

13 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・誤動作や故障する恐れがあります。

14 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の効率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

⚠ 注意

- 1** 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- 2** 使用後は付着したゴミなどを取り除き、乾燥させてから保管してください。
 - ・ 季節や地域によっては凍結による故障の恐れがあります。
- 3** 通気口に雑草や葉、土などのよごれが付着した場合、取り除いてください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 4** 高圧水での洗浄はしないでください。
 - ・ 破損、故障の原因になります。

充電式グラウンドトリマ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式グラウンドトリマとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 1** 本製品は草刈りを目的とした製品です。この目的以外には使用しないでください。
 - ・ 目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。また本製品の寿命を縮めます。
- 2** 作業場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・ 埋設物があると刈刃が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- 3** 作業場所にある小石、針金、空きカン、空きビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。
 - ・ 使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本製品の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故やけがの原因になります。
- 4** 使用前に必ず周囲に人がいないことを確認してください。
 - ・ 事故の原因になります。
- 5** 金属製フェンスなどの硬い物をかみ込むと、刃の損傷や本製品故障の原因になるため十分注意してください。
- 6** 足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。
 - ・ 転倒してけがの原因になります。
- 7** シャープブレードが石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。
 - ・ 使用中にシャープブレードが石や縁石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたはシャープブレードが破損し、事故の原因になります。
- 8** 落雷の恐れがあるときは作業しないでください。

警告

- 9** 本製品やバッテリーを雨中や湿気の多い所に放置しないでください。
・感電や本製品およびバッテリーが故障する恐れがあります。
- 10** 保護帽（ヘルメット）、耳栓、保護メガネ（ゴーグル）、防振手袋、滑り止めの付いた安全靴、すね当てなどの保護具を着用してください。けがの原因になります。
・転倒や頭上の木の枝、落下物などから頭を保護するため、保護帽（ヘルメット）を着用してください。
・騒音から聴覚を保護するため、耳栓などの保護具を着用してください。
・刈刃部から飛んでくるものから目を保護するため、保護メガネ（ゴーグル）を着用してください。
・手の保護のため、防振手袋を着用してください。
・シャープブレードから飛んでくるものから足を保護するため、底に滑り止めの付いた安全靴（先しん入り）を着用してください。
・シャープブレードから飛んでくるものから足を保護するため、すね当てを着用してください。
・粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。
- 11** 本製品は両手でハンドルを確実に保持し、体重が両足にかかるように適度に足を開いて使用してください。その際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。
・確実に保持していないと、けがの原因になります。
- 12** 始動前に、シャープブレードにひび割れ、歪み、異常摩耗などキズがないことを確かめてください。これらのキズを発見した場合には絶対に使用しないでください。なお、シャープブレード点検時には手袋を着用してください。
・異常があると刃物が破損し、けがの恐れがあります。
- 13** シャープブレードやハンドルなどは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・確実にしないと、はずれたりして、けがの原因になります。
- 14** 使用中に異物をかみ込んでシャープブレードが動かなくなったときは、必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを取りはずし、ペンチなどの工具を使って異物を取り除いてください。
・手で異物を取り除くと、取り除いた反動でシャープブレードが動いて、けがの原因になります。

⚠ 警告

- 15** 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 16** 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、シャープブレードや本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
- 17** 使用中に刃が石などの障害物に当たったときは、すぐに本製品を停止させ異常がないか調べてください。
 - ・そのまま使用していると事故の原因になります。
- 18** 休憩時など本製品から離れるときは、必ずスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・バッテリーを本製品に差したまま放置すると、事故の原因になります。
- 19** 保守、点検の際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・バッテリーを本製品に差したまま行くと、事故の原因になります。
- 20** 本製品を移動、運搬、保管する際は、本製品からバッテリーを取りはずしてください。
 - ・事故の原因になります。
- 21** 本製品は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体に負担をかけることがありますので、定期的に休憩をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体への負担にご注意ください。
- 22** 本製品を使用した直後にギヤハウジングを触らないでください。
 - ・高温になっており、触れるとやけどをする可能性があります。
- 23** シャープブレードが動いているときは、絶対にシャープブレードに触れないでください。非常に危険です。シャープブレードに触れる場合は必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを抜いてください。

⚠ 警告

- 24** 始動時や使用中は、不用意に身体をシャープブレードに近づけないでください。
・ けがの原因になります。
- 25** 使用中は、シャープブレードを自分の方に向けないでください。
・ けがの原因になります。
- 26** 刈り込みは走って行わないでください。
・ 転倒などの恐れがあります。
- 27** 人やペットのいるそばで使わないでください。また小さい子供には絶対に使わせないでください。
・ 事故の原因になります。
- 28** 使用しないとき、シャープブレードのお手入れ以外の保守・点検時、または持ち運ぶときは、シャープブレードにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにしてください。また、お子様の手の届かない所に保管してください。
・ けがや事故の原因になります。
- 29** 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
- 30** 傾斜地で作業する際は、グリップをしっかりと保持して、本製品から手を離さないでください。
- 31** 本製品をやむを得ず一時的に放置する場合は、以下のいずれかの対応をしてください。
・ 前輪の位置を後方に下げて、アンダプレートを接地させる。
・ 本製品が意図せず動かないように、後輪の前後に輪留めを設置する。
・ ハンドルを折りたたんだ状態で縦置きする。
・ ハンドルを折りたたんだ状態で横置きして、アンダプレートを接地させる。
・ ハンドルを折りたたんだ状態で横置きして、後輪に輪留めを設置する。
・ 傾斜地の場合、斜面に対して本製品の車輪が垂直になるように接地させる。

⚠ 注意

- 1 身体を冷やさないような服装で作業してください。
- 2 降雪時や積雪中での使用は避けてください。
 - ・ 製品が凍結して故障する恐れがあります。
- 3 シャープブレードのカバー取り付け、取りはずしの際は、刃先に注意してけがをしないようにしてください。
- 4 油および殺虫剤などの薬品が付いたまま本製品を放置しないでください。
 - ・ 変色・変形・ワレなど、本製品が損傷する恐れがあります。
- 5 取り付けネジの点検
 - ・ 本製品を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。
- 6 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。注意ラベルは、お買い上げの販売店、または当社営業所に手配をお申し付けください。
- 7 いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因になります。
- 8 使用しない場合は、必ず屋内に保管し、保管場所として次のような場所を避けてください。
 - ・ 子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - ・ 温度や湿度の急変する所
 - ・ 湿気の多い所
 - ・ 直射日光の当たる所
 - ・ 揮発性物質の置いてある所
 - ・ 高い所やバランスの悪い所

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 4 有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0～3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ/min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ/min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

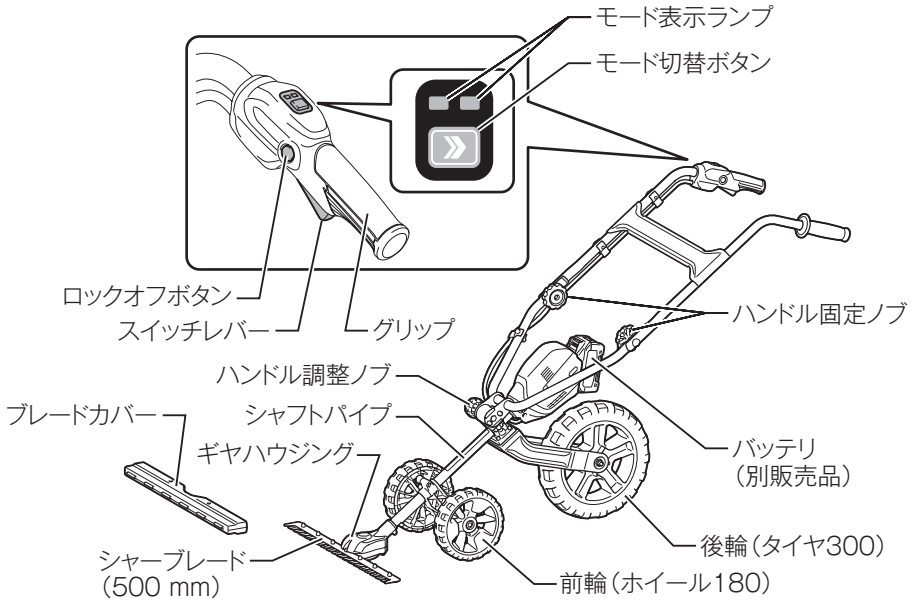
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0～3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない。

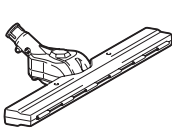
注

- ・ IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- ・ 工具本体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

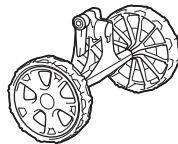
各部名称



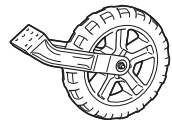
梱包部品の確認



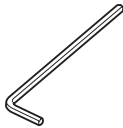
ギヤハウジング



前輪※



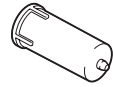
後輪



六角棒スパナ4



キャップ
(シャフトパイプ用)



キャップ
(ギヤハウジング用)



六角穴付ボルト
M5×20 (4本)



六角穴付ボルト
M5×25 (1本)



六角穴付ボルト
M5×12 (1本)

※：シャフトパイプに取り付いています。

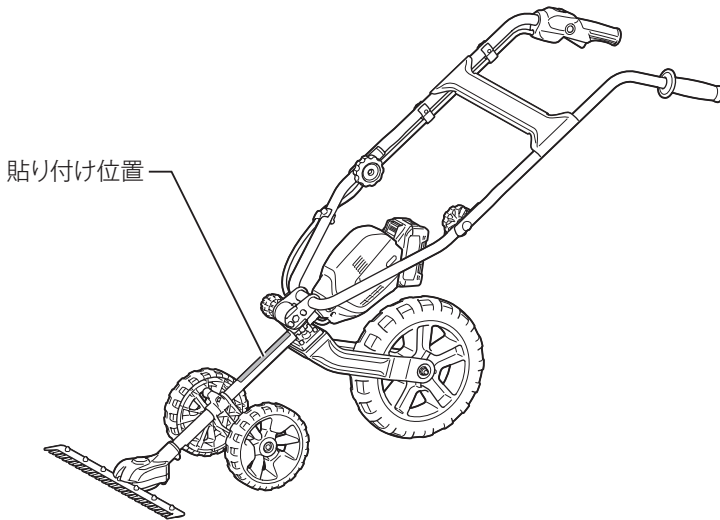
その他

注意ラベル

安全に使用していただくために、本製品には注意ラベルが貼ってあります。注意ラベルをすべて読んでからご使用ください。


注意ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。本製品に貼ってあるラベルが汚れ、破れなどで読めなくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。またラベルが貼られている部分を交換する場合は、ラベルも新しいものと交換し、貼り付けてください。

ラベルの手配はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。



シンボルマークについて

本製品にシンボルマークを記載しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転中、停止直後は高温部に注意してください。
---	--

ご使用前の準備

組み立て

⚠ 警告

本製品の組み立てや付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを差し込んだまま行くと本製品が作動し、けがや事故の原因となります。

⚠ 注意

本製品を組み立てる際は、必ず手袋を着用してください。

- ・ けがの恐れがあります。

本製品を組み立てる際は、コードがかみ込まないように注意してください。

- ・ 破損の原因になります。

固定レバーやボルト、ハンドル調整ノブは確実に締め付けてください。

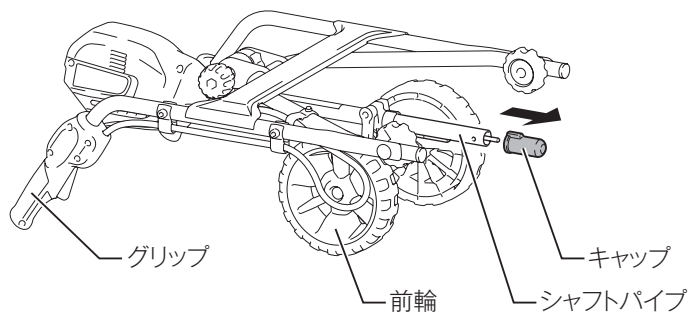
- ・ しっかり締めないと作業中にゆるんで、事故の原因になります。

注

- ・ 本製品の組み立て作業は、ハンドルのグリップを接地させて行うため、屋内の床がきれいな環境で行うことをおすすめします。

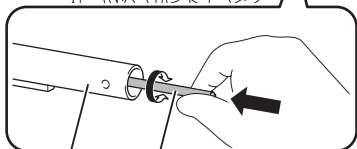
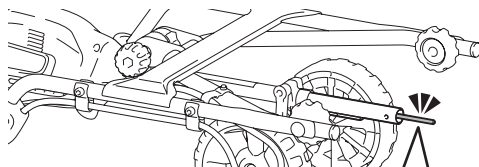
ギヤハウジング（シャープレード）の取り付け方

1. 本製品をグリップと前輪で支えるように、平たんで安定した場所に置きます。
2. シャフトパイプに取り付いているキャップを取りはずします。



- ・ シャフトがシャフトパイプから抜け落ちないように注意してください。シャフトがシャフトパイプから飛び出した場合は、シャフトを手で回しながら押し込んで元の位置に戻してください。

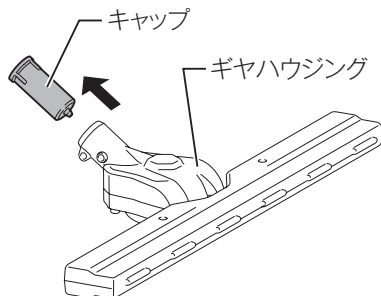
注



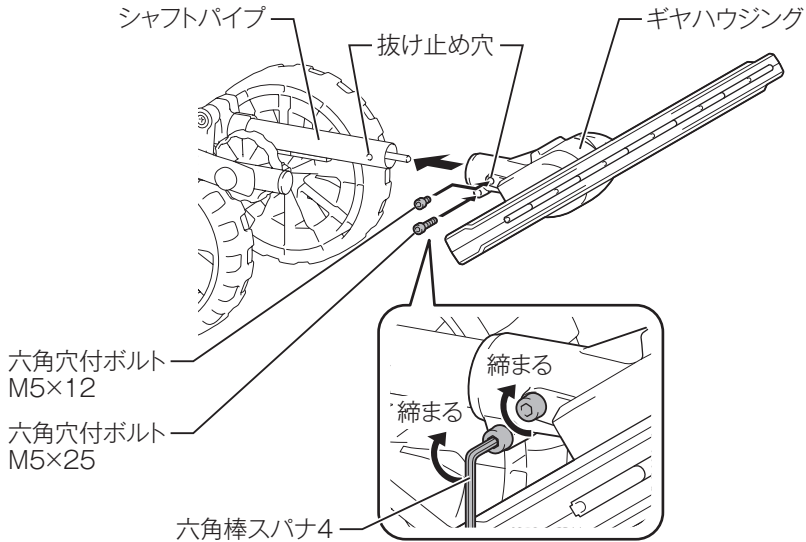
シャフトパイプ — シャフト

- ・ シャフトパイプにグリスが付着している場合は、乾いた布できれいに拭き取ってください。

- 3.** ギヤハウジングに取り付いているキャップを取りはずします。



4. シャフトパイプの抜け止め穴と、ギヤハウジングの抜け止め穴の位置が合うように、ギヤハウジングをシャフトパイプに挿し込みます。
5. 抜け止め用の六角穴付ボルト M5 × 12 を、六角棒スパナ 4 で締め付けます。
6. 締め付け用の六角穴付ボルト M5 × 25 を、六角棒スパナ 4 で締め付け、シャフトパイプを固定します。



注

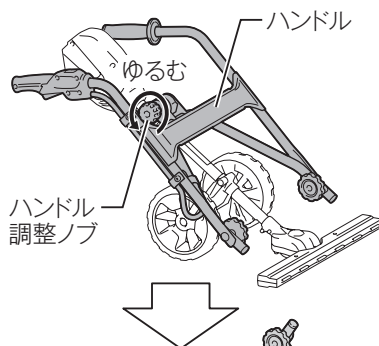
- ・ シャフトパイプにギヤハウジングを取り付ける際は、はずれないように付属の六角棒スパナ 4 で六角穴付ボルトをしっかり締め付けてください。

後輪の取り付け方

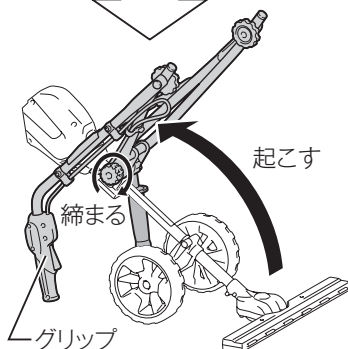
1. ハンドル調整ノブをゆるめます。

注

・ハンドル調整ノブをゆるめるときはハンドルをしっかりと保持してください。

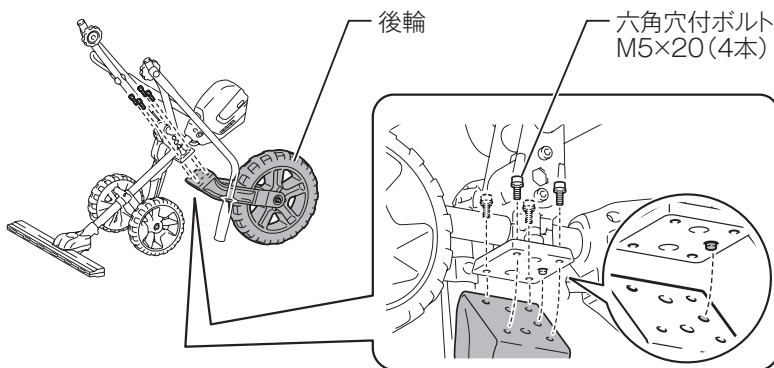


2. 折りたたまれた状態のハンドルを下図の矢印の方向に起こし、グリップ部分で立たせます。



3. ハンドル調整ノブをしっかりと締め付けます。

4. 後輪とシャフトパイプとの取り付け部分にある穴の位置を合わせ、六角穴付ボルト M5 × 20 (4本) を、六角棒スパナ 4 で締め付けます。このとき、取り付け部分にすき間ができないようにしっかりと締め付けます。



注

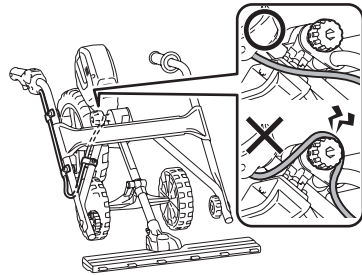
・シャフトパイプをしっかりと保持しながら取り付け作業を行ってください。

ハンドルの組み立て方

⚠ 注意

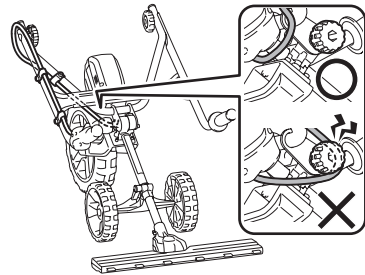
ハンドルを組み立てる際は、コードを挟まないように注意してください。

- ・コードが損傷して故障の原因になります。



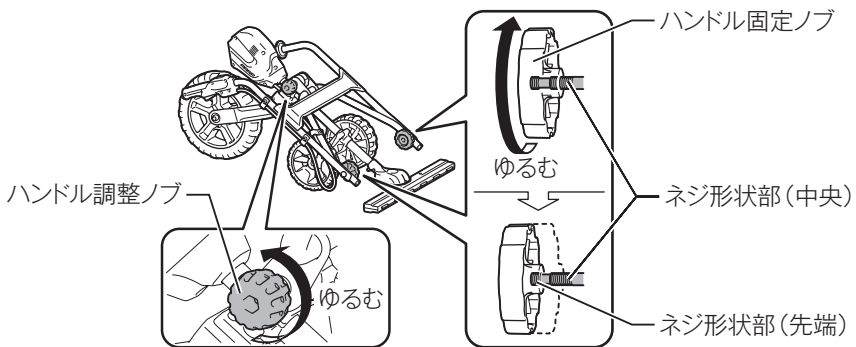
ハンドルを組み立てる際は、コードをねじらないように注意してください。

- ・コードが損傷して故障の原因になります。



1. ハンドル調整ノブとハンドル固定ノブをゆるめます。

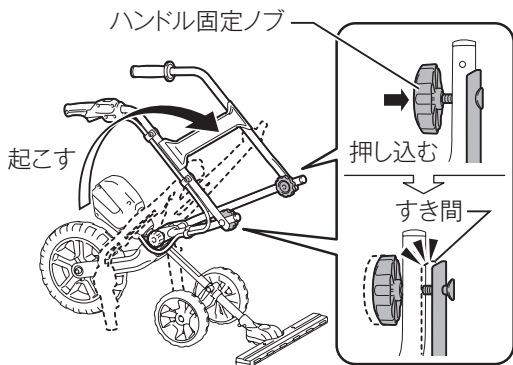
ハンドル固定ノブは、下図のネジ形状部（中央）から完全にはずれるまでゆるめてください。



注

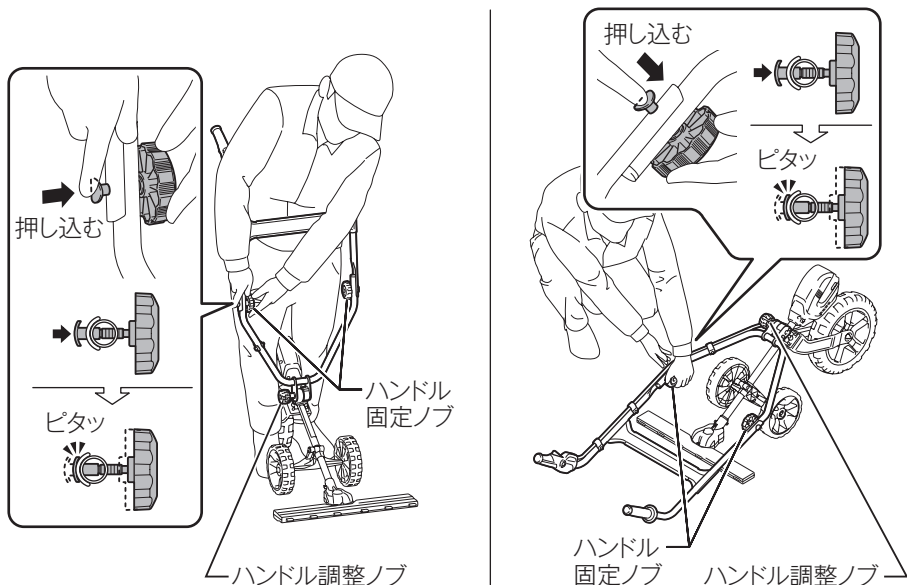
- ・ハンドル固定ノブのボルトは、ネジ形状部が中央と先端に分かれている構造になっています。ハンドル固定ノブは、上図のネジ形状部（先端）から完全にはずれるまでゆるめる必要はありません。

- 2.** ハンドルを操作する位置まで起こします。
 ハンドル固定ノブを矢印の方向に押し込むとすき間が空き、ハンドルが動かせるようになります。



- 3.** 体でハンドルを支えながら、ハンドル固定ノブとハンドル調整ノブを締め付けてハンドルを固定します。

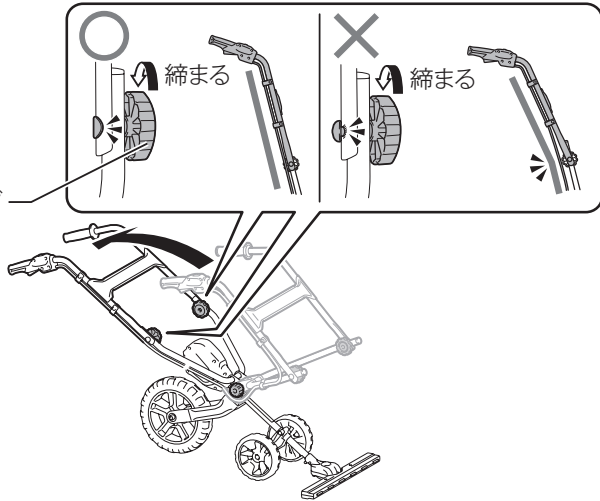
体でハンドルを支えるのが難しい場合は、床に置いてハンドル固定ノブを締め付けた後、ハンドルを持ち上げてハンドル調整ノブを締め付けます。



- ・ハンドル固定ノブを取り付けるボルト頭部の曲面形状が、ハンドル部分とぴったり合うようにしっかり締め付けてください。

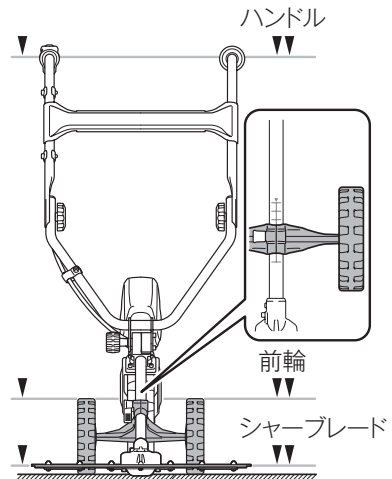
注

ハンドル固定ノブ



平行確認

- ・組み立てが完了した後、ハンドル、前輪、シャープレードなど各部位が地面と平行になっているか確認してください。
地面と平行になっていない場合は、ボルトや固定レバーをゆるめて再調整するなどして、組み立て手順をやり直してください。

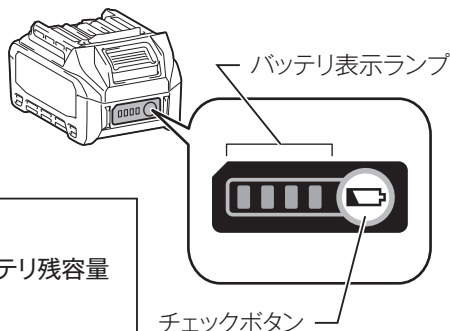


バッテリーの充電

バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ▨ ▨	バッテリーの異常です。

注	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。 ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。
---	--

バッテリーの充電方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やホコリから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ




充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中に下記状態になるとモータが自動停止します。これは保護機能によるものです。

状態	対応	モード表示ランプ
本製品の温度が高温になると、モータが自動停止します。	使用を中断して本製品からバッテリーを取りはずし、本製品を冷却してください。	緑点灯 赤点灯 
バッテリーの容量が少なくなる、またはバッテリーの温度が高温になると、モータが自動停止します。	使用を中断して本製品からバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器でバッテリーを充電および冷却するか、充電されたバッテリーに交換してください。	緑点灯 赤点滅 
本製品が過負荷状態になると、モータが自動停止します。	使用を中断して本製品からバッテリーを取りはずし、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。	緑点灯 緑点滅 

- ・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(64 ページ参照)に従って点検してください。

各種機能

■ 定回転制御

- ・ 電子制御で、回転速度を一定に保ちます。負荷がかかっても回転速度が一定であるため、きれいな仕上がりが得られます。

■ ソフトスタート

- ・ スイッチレバーを引いたとき、反動をおさえスムーズに回転し始めます。

■ 電気ブレーキ

- ・ スイッチレバーを放すと、電氣的に回転を止めます。ただし、バッテリーの残容量が無くなった場合や、スイッチレバーを引いたままバッテリーを抜いた場合は、ブレーキ機能は作動しません。

■ 再起動防止

- ・ 本製品には再起動防止機能を備えています。
スイッチを入れた状態でバッテリーを差し込んでも起動しません。
その際はスイッチを切ってから、再度スイッチを入れると起動します。

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方

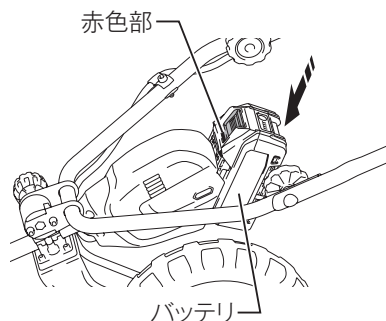
⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

取り付け方

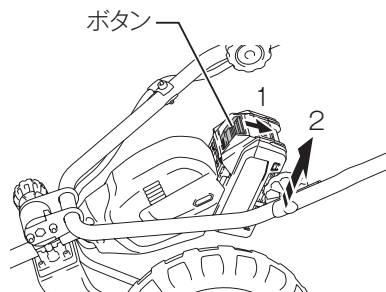
- 1.** バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



イラストはBL4040Fの取り付け例です。

取りはずし方

- 1.** バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



本製品の操作

ハンドルの高さ調整方法

ハンドルの高さは作業しやすい角度（3段階）に調整できます。

⚠ 警告

ハンドルの高さを調整する際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを差し込んだまま行くと本製品が作動し、けがや事故の原因となります。

⚠ 注意

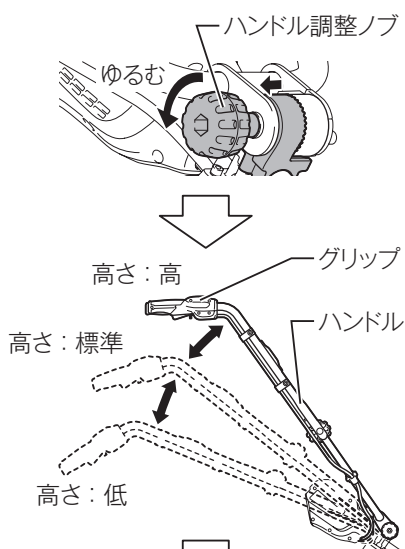
ハンドルの高さを調整する際は、連結部などに指を挟まないように注意してください。

- ・ けがの原因になります。

ハンドルを可動範囲を超えて無理に動かさないでください。

- ・ 故障の原因になります。

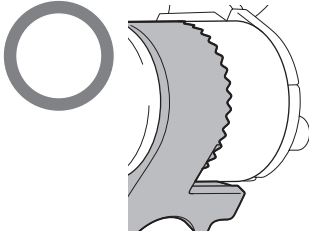
1. ハンドル高さが「高」のとき、グリップは地面に対してほぼ水平の状態になります。位置を調整する場合は、ハンドル調整ノブをゆるめて、ハンドル位置を変更します。



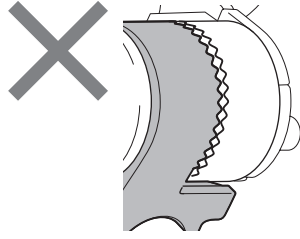
2. ハンドルの高さを調整し、ハンドル調整ノブをしっかりと締め付けて固定します。

注

- 本製品を使用する前に、必ずハンドル調整ノブをしっかりと締め付けてください。
- ハンドルを3段階に調整できる高さ以外の位置で、無理にハンドル調整ノブを締め付けしないでください。
- ハンドル高さを調整するギヤが正しくかみ合っていない状態で、ハンドル調整ノブを無理に締め付けしないでください。



ギヤがかみ合っている



ギヤがかみ合っていない

ブレードカバーの取りはずし／取り付け方法

⚠ 警告

ブレードカバーの取りはずし、取り付けの際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

本製品を使用しないときは、必ずシャープブレードにブレードカバーを取り付けてください。

- ・ けがの原因になります。

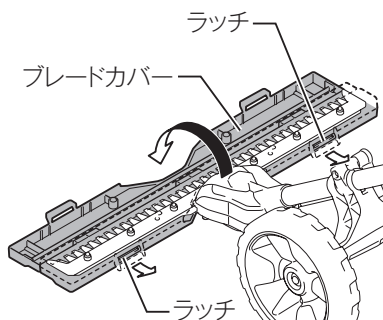
⚠ 注意

ブレードカバーの取りはずし、取り付けの際は、シャープブレードの刃先に触れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

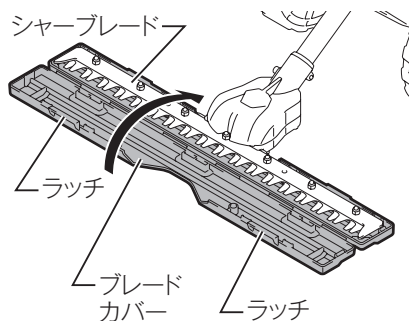
■ 取りはずし方

1. ブレードカバーの左右のラッチを引き上げ、ブレードカバーを開きます。
2. ブレードカバーを取りはずします。



■ 取り付け方

1. ブレードカバーを開いた状態で、ブレードカバー上にシャープブレードを置きます。
2. ブレードカバーを閉めて、左右のラッチで固定します。



刈り高さの調整

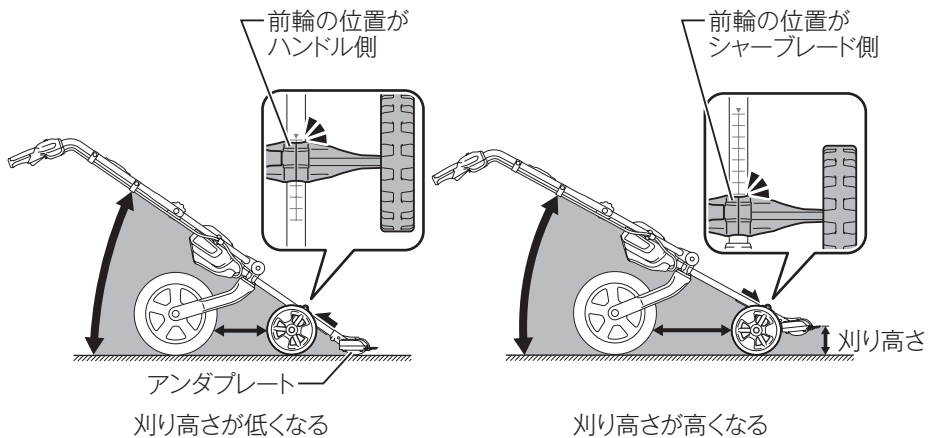
⚠ 警告

- 刈り高さを調整する際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。
- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

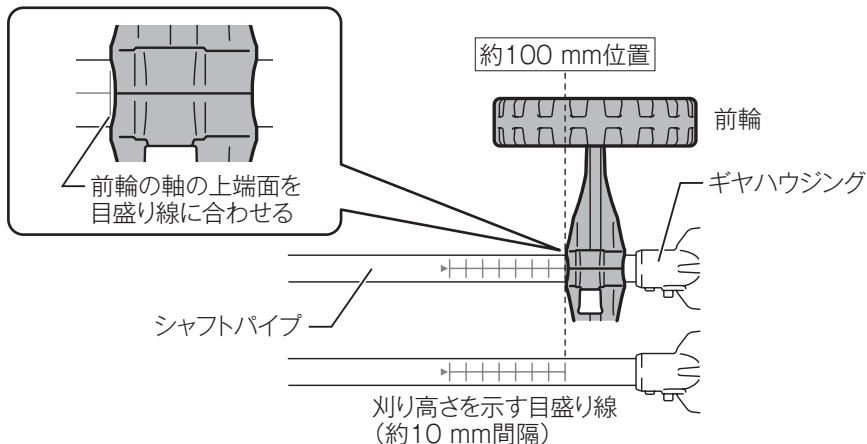
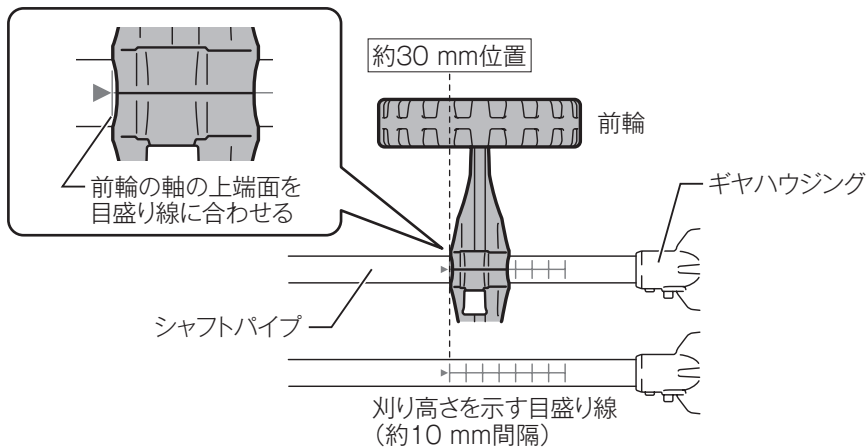
- ・ 梱包状態の前輪取付位置は、最後方（アンダプレートが接地する位置）に設定されています。
- ・ 前輪の位置を調整した後は、固定レバーをしっかりと締め付けてください。

前輪の固定位置を変更すると、連動してシャープブレードの高さが変わります。シャフトパイプ上にある約 10 mm 間隔の目盛り線に前輪の位置を合わせて、約 30 mm ～約 100 mm の範囲で刈り高さを調整できます。



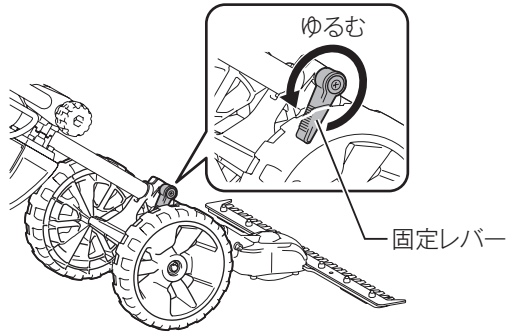
■ シャフトパイプの目盛り線について

- ・ シャフトパイプの目盛り線に、前輪の位置を合わせた場合の刈り高さ目安は下図のとおりです。
前輪の軸の上端面を基準にして、シャフトパイプの目盛り線に合わせてください。



■ 刈り高さの調整方法

1. 前輪の固定レバーをゆるめます。

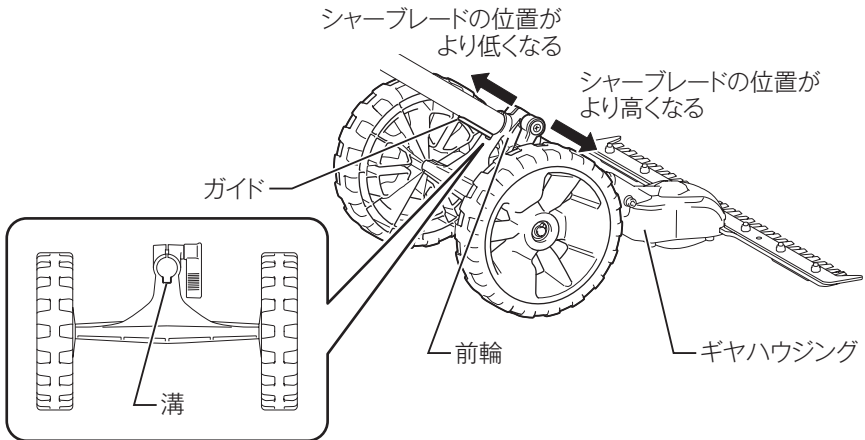


注

・ 固定レバーは軽くゆるむ程度に回してください。ゆるめすぎると、前輪から完全にはずれて紛失する恐れがあります。

2. 前輪の位置を調整します。

刈り高さをより高くするには前輪の位置をギヤハウジング側に調整し、刈り高さをより低くするには前輪の位置をハンドル側に調整します。

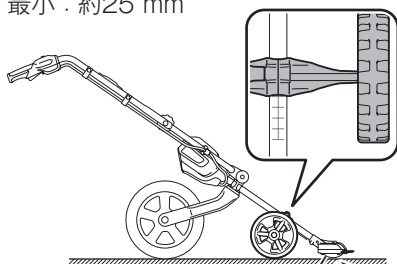


- 目盛り線の外側まで前輪を動かして位置を固定すると、以下の範囲まで刈り高さを調整できるようになります。

最小：約25 mm

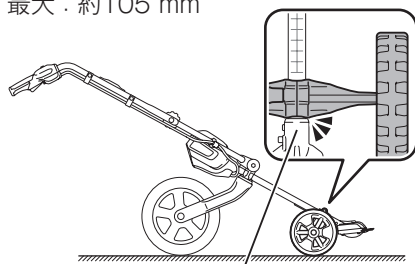
最大：約105 mm

注



アンダプレート

アンダプレートが地面から
少し浮かせた位置で前輪を固定

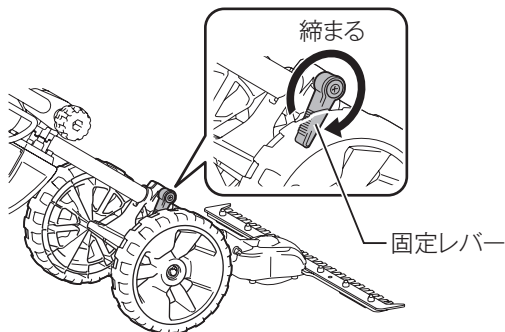


ギヤハウジング

ギヤハウジングに
接触する位置で前輪を固定

- 前輪の位置は、溝とシャフトパイプのガイドが重なる範囲内で調整してください。

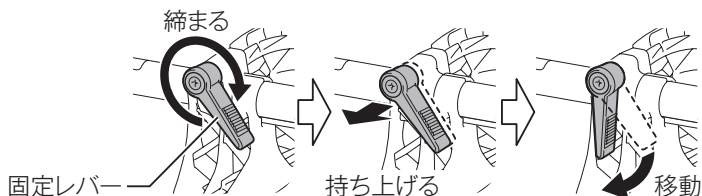
3. 固定レバーをしっかりと締め付け、前輪を固定します。



固定レバー

注

- 固定レバーは持ち上げて動かすことで、操作しやすい位置に移動させることができます。



スイッチの操作

⚠ 警告

持ち運ぶときは、スイッチレバーに指をかけないでください。

- ・ 不意にスイッチが入り、事故の原因になります。

スイッチレバー、ロックオフボタンに異常がないか点検してください。もし異常がある場合は使用せず、修理をお申し付けください。

- ・ スイッチレバーを操作しても始動および停止ができない場合は異常です。
- ・ 本製品はロックオフボタンを押すことでスイッチレバーが引ける状態になります。ロックオフボタンを押していない状態で、スイッチレバーが引ける場合は異常です。

ロックオフボタンをテープなどで固定するような使い方をしないでください。

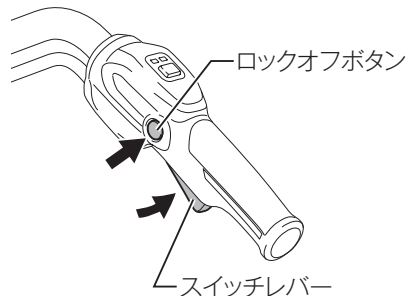
- ・ 事故の原因になります。

⚠ 注意

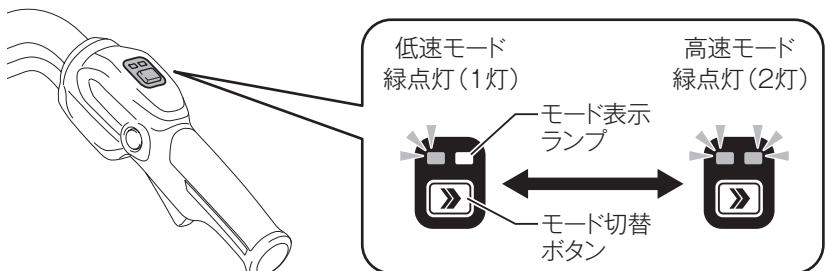
ロックオフボタンを押さずに、スイッチレバーを無理に引かないでください。

- ・ 故障の原因になります。

- ・ ロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くと電源が入ります。スイッチレバーを放すと停止します。



- ・ モードボタンを押すか、スイッチレバーを引くとモード表示ランプが点灯し、現在のモード設定を確認できます。
- ・ モード切替ボタンを1回押すごとに「低速モード」と「高速モード」が切り替わります。

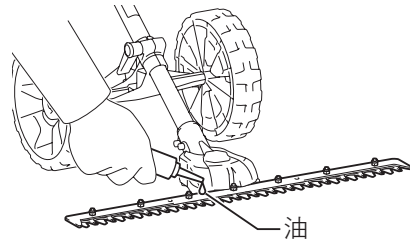


注

- ・ 本製品は、前回使用時に設定したモードで起動します。
- ・ スイッチレバーを放し、その後一定時間操作がない場合、モード表示ランプは自動的に消灯します。
- ・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。

シャープブレードへの注油

- ・ 初回使用時はシャープブレードに油が塗布されていません。
- ・ 作業前と作業中の 1 時間に 1 回程度はシャープブレードに注油をしてください。



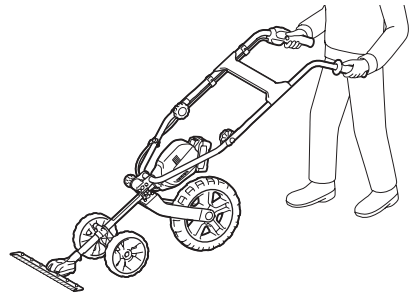
刈り込み方法

⚠ 警告

あらかじめ小石、棒切れなどを取り除いてください。

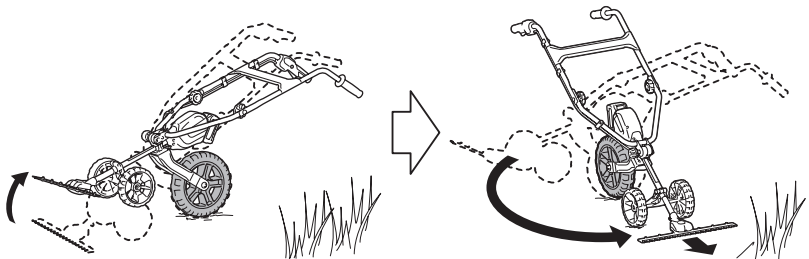


1. 両手でハンドルのグリップをしっかり握って、本製品をしっかり保持します。
2. 体重が均等にかかるような姿勢で両足を開きます。
3. 本製品の電源を入れ、前方にゆっくり押し進めて刈り込み作業を行います。



- ・方向を変える場合は、前輪を持ち上げながら後輪を軸にして回転させてください。

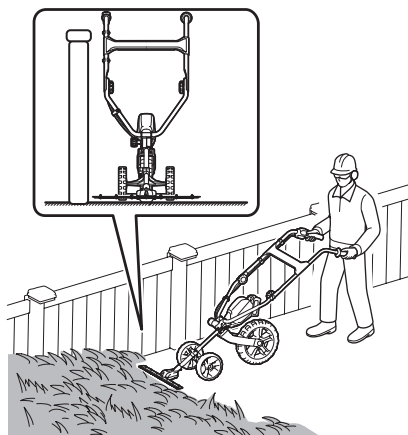
注



- ・ 刈り取った草が刃に覆いかぶさった場合は、前後に動かして取り除いてください。
- ・ 草が密集している場合は、複数回に分けて作業すると簡単に仕上がりが良くなります。



- ・ 壁に沿って、本製品をまっすぐ前方に押し作業してください。
- ・ シャープブレードの幅はハンドルの幅よりやや広く、壁や角に近づけて作業することができます。シャープブレードが壁などに接触しないよう、十分注意してください。



使用後の取り扱い

本製品の保管

本製品は、ハンドルを折りたたんでコンパクトに保管、収納できます。

⚠ 警告

保管時は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。
- ・ 本製品は屋内の鍵のかかる涼しく乾いた場所に保管してください。
- ・ 本製品を 40 °C 以上になる場所に保管しないでください。

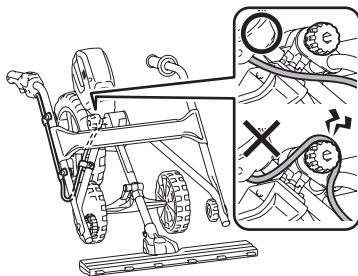
保管時は、必ずシャープブレードにブレードカバーを取り付けてください。

- ・ 刃先に手などが当たり、けがの原因になります。

⚠ 注意

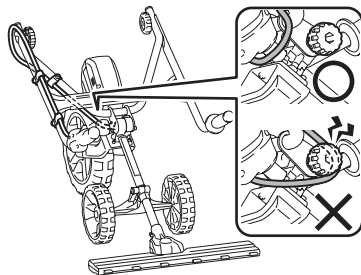
ハンドルを折りたたむ際は、コードを挟まないように注意してください。

- ・ コードが損傷して故障の原因になります。



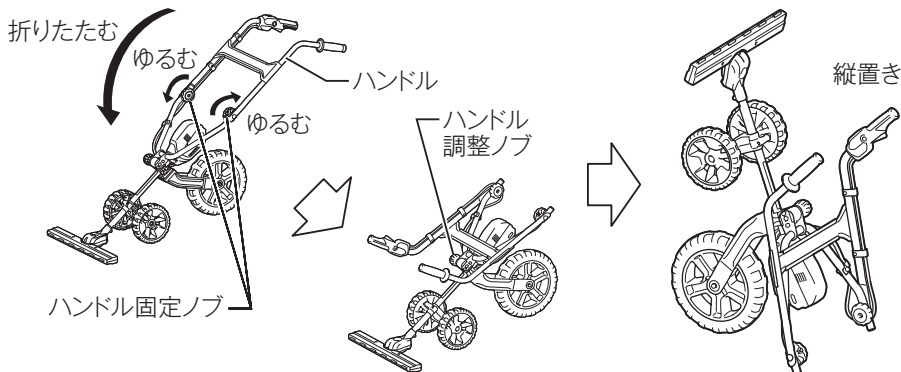
ハンドルを折りたたむ際は、コードをねじらないように注意してください。

- ・ コードが損傷して故障の原因になります。



■ 折りたたみ方（縦置き）

1. ハンドル固定ノブをゆるめて、下図のようにハンドルを折りたたみます。
2. 下図のような向きで本製品を起こします。

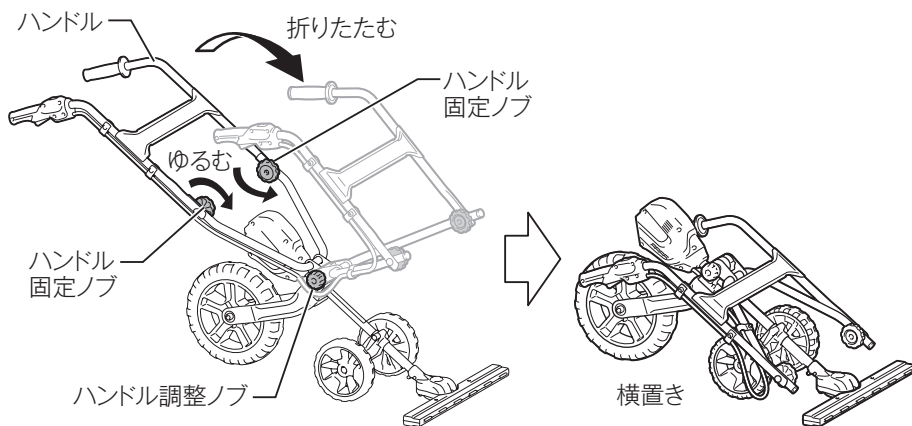


注

・本製品を折りたたんだ後は、ハンドル調整ノブをしっかりと締め付けてください。

■ 折りたたみ方（横置き）

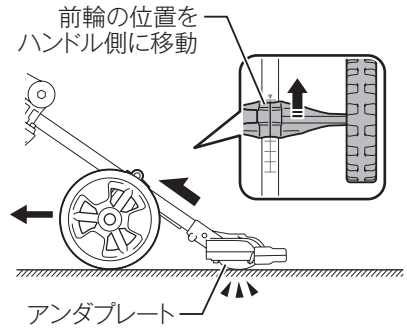
1. ハンドル固定ノブとハンドル調整ノブをゆるめて、下図のようにハンドルを折りたたみます。



注

・本製品を折りたたんだ後は、ハンドル調整ノブをしっかりと締め付けてください。

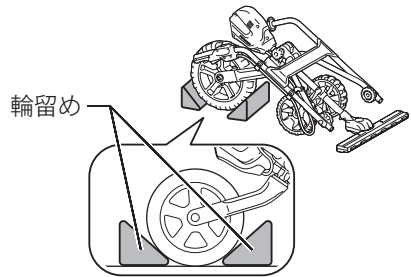
2. 前輪の位置を移動して、アンダプレートを地面に接地させることで本製品が安定します。



3. 後輪が移動しないように、輪留めを設置します。

注

・本製品に前輪、後輪を固定する機能はありません。



運搬方法

⚠ 警告

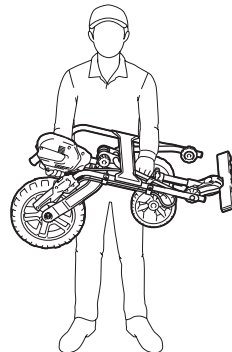
運搬する際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。

- ・本製品が作動して、けがの恐れがあります。

運搬する際は、必ずシャープブレードにブレードカバーを取り付けてください。

- ・刃先に手などが当たり、けがの原因になります。

- ・本製品を運ぶときは、右図のように持ってください。



お手入れ

⚠ 警告

お手入れの際は、必ず本製品からバッテリーを取りはずしてください。
・ バッテリーを差し込んだまま行くと、事故の原因となります。

⚠ 注意

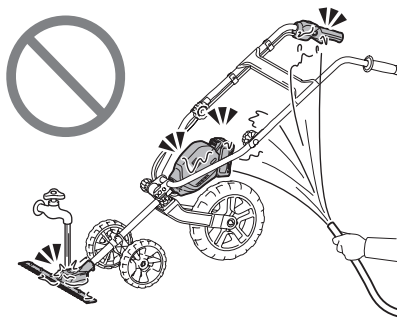
シャープレードをお手入れする際は、必ず手袋を着用してください。
・ けがの原因になります。

本製品のお手入れ

・ 乾いた布や薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

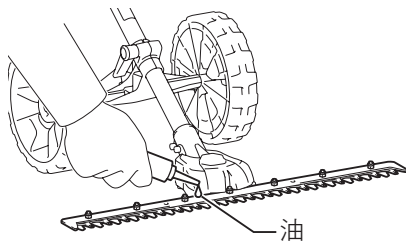
注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 右図で示されたモータユニットなどの場所に水をかけると、故障の原因になります。
- ・ 本製品を高圧洗浄機で洗わないでください。

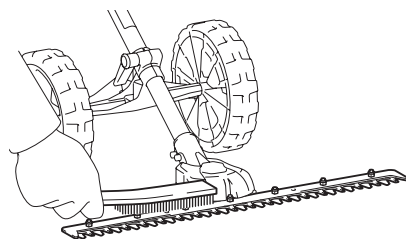


シャープブレードのお手入れ

- 作業前と作業中の1時間に1回程度はブレードに注油をしてください。



- 作業後は、ワイヤブラシで刃の両面の汚れを落とし、布で拭き取ってから機械油などの粘度の低い油やスプレー式の潤滑油を十分に差してください。



注

- シャープブレードは水洗いしないでください。さびや故障の原因になります。

消耗品の交換／補充

シャープブレードの交換方法

⚠ 警告

シャープブレードを交換する際は、必ず本製品からバッテリーを抜いてください（シャープブレードの上刃と下刃を動かす手順を除く）。

- ・ バッテリーを差し込んだまま行くと、事故の原因となります。

⚠ 注意

シャープブレードを交換する際は、必ず手袋およびブレードカバーを付け、手や顔などが直接刃物に触れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

金属部が高温になっている場合があります。金属部が冷えたことを確認してから交換作業を行ってください。

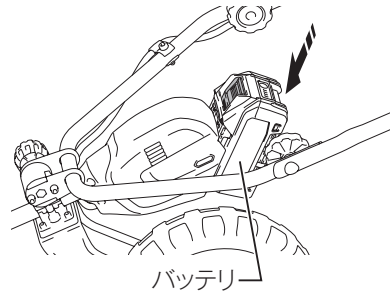
- ・ やけどの恐れがあります。

注

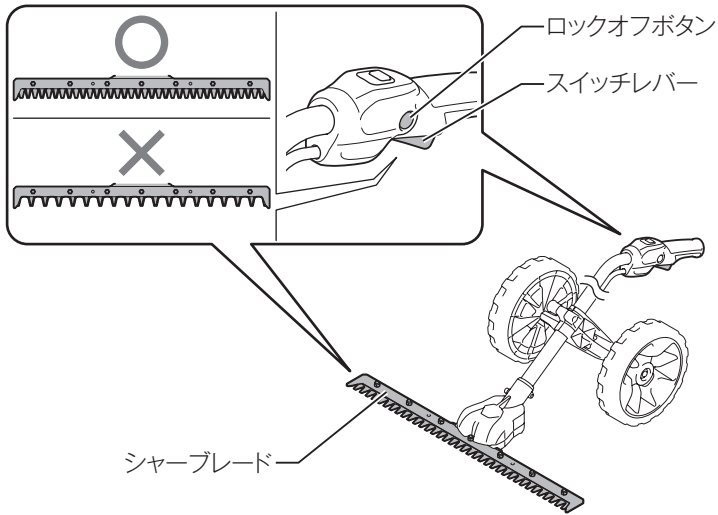
- ・ シャープブレードの駆動部にはグリスが塗布されており、手が汚れま
すので注意してください。また、ギヤやクランクに付いているグリスは拭き取らないでください。故障の原因になります。
- ・ シャープブレードの交換後、正常に動かない場合は、シャープブレード
とクランクのかみ合わせがよくありません。もう一度最初からやり
直してください。
- ・ クランクなど、シャープブレード以外の部品に摩耗などの異常がござ
いましたら、お買い上げの販売店、または当社営業所に交換・修理
をお申し付けください。
- ・ シャープブレードの交換作業は、ハンドルのグリップを接地させて行
うため、屋内の床がきれいな環境で行うことをおすすめします。

■ シャーブレードの取りはずし方

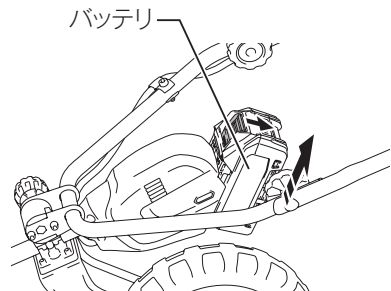
1. 本製品にバッテリーを取り付けます (36 ページ参照)。



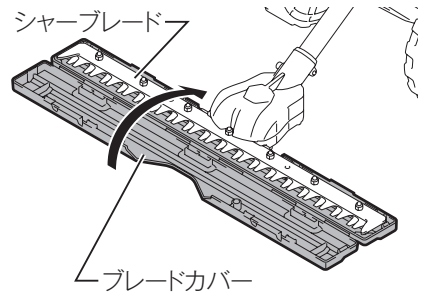
2. ロックオフボタンを押しながらスイッチレバーを引いて、シャーブレードの上刃と下刃が交互になるように動かします。



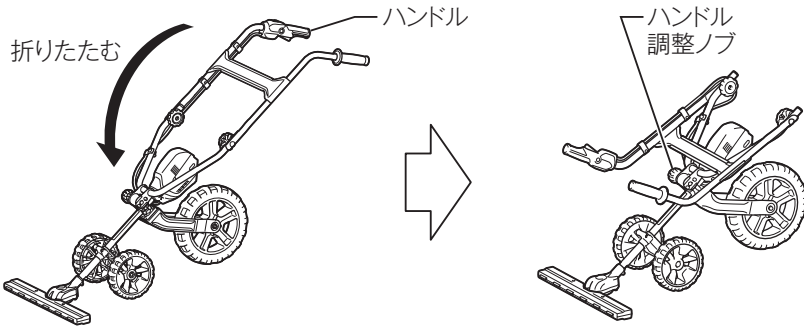
3. 本製品からバッテリーを取りはずします (36 ページ参照)。



4. シャーブレードにブレードカバーを取り付けます (39 ページ参照)。



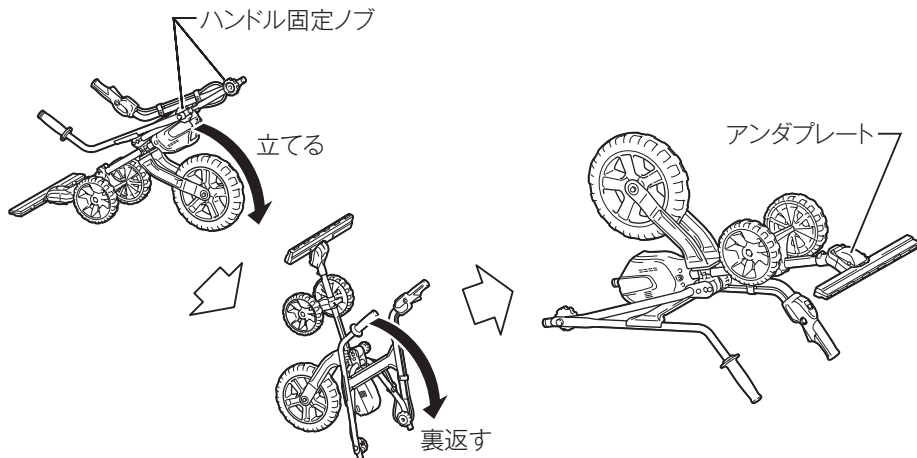
5. 下図のように、ハンドルを矢印方向に折りたたみます。
(ハンドルの折りたたみ方については 49 ページを参照してください)



注

- ・本製品を折りたたんだ後は、ハンドル調整ノブをしっかりと締め付けてください。

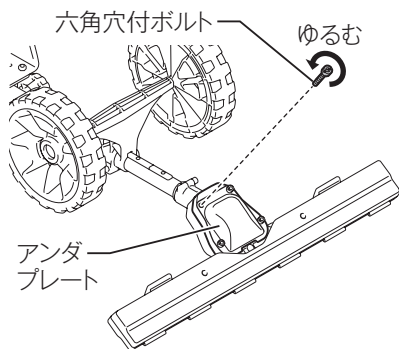
6. ギヤハウジングのアンダプレートが上を向くように、下図のような手順で本製品を裏返します。



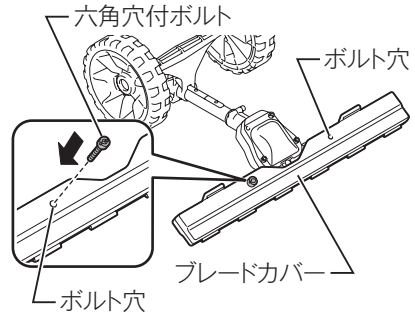
注

- ・本製品を裏返して逆さに置く際は、折りたたんだハンドル部分が倒れないように手でしっかり支えるか、あらかじめハンドル固定ノブを締め付けてください。

7. アンダプレートを固定している六角穴付ボルト（4本）の内1本を取りはずします。

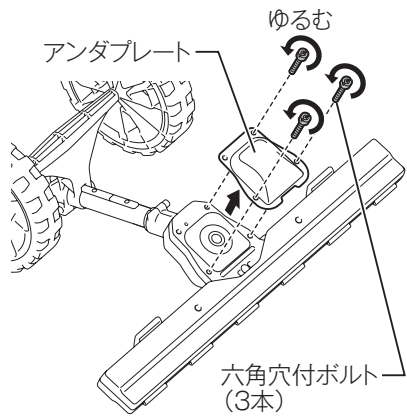


- 8.** 取りはずした六角穴付ボルトをブレードカバーの左右どちらかのボルト穴に挿します。

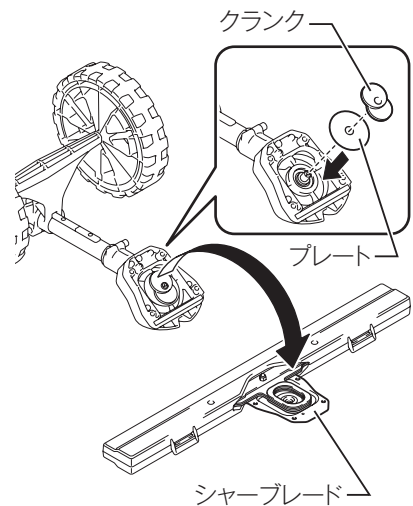


- 9.** アンダプレートを固定している残りの六角穴付ボルト (3本) を取りはずします。

- 10.** アンダプレートを取りはずします。

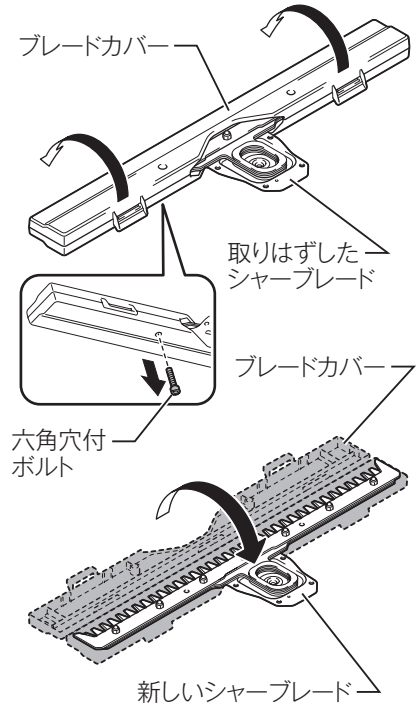


- 11.** シャーブレードを取りはずします。クランクとプレートも同時にはずれてしまった場合は、プレート、クランクの順に取り付けます。

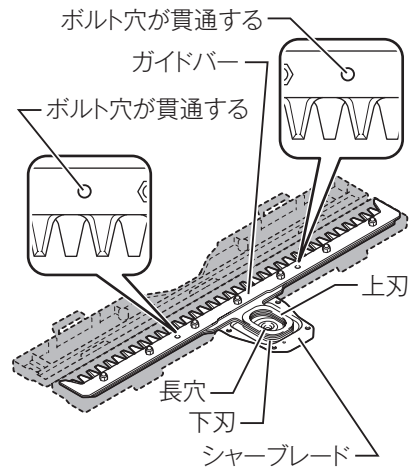


■ シャーブレードの取り付け方

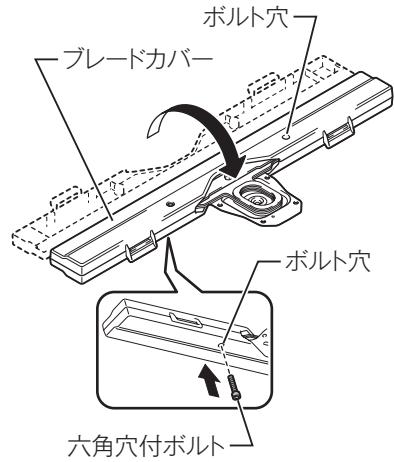
1. 取りはずしたシャーブレードから六角穴付ボルトとブレードカバーを取りはずし、ブレードカバーを開いた状態で、新しいシャーブレードをブレードカバー上に置きます。



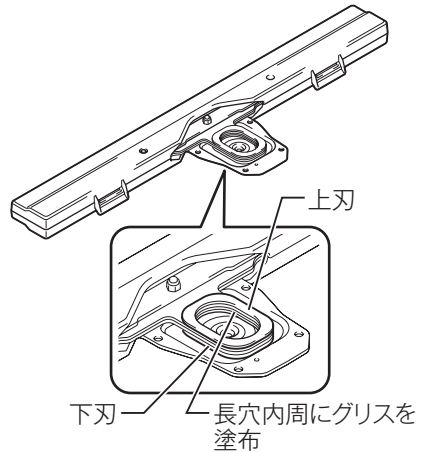
2. 新しいシャーブレードの上刃と下刃の長穴位置をシャーブレードの中央にそろえます。
シャーブレードのガイドバー両側のボルト穴が貫通します。



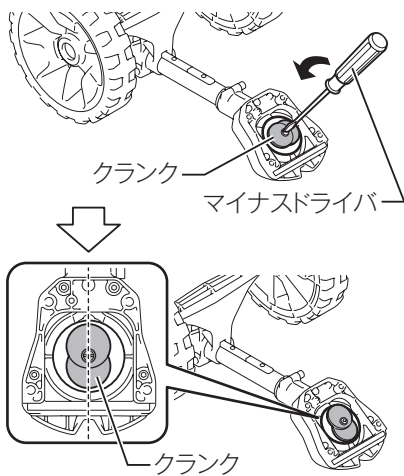
- 3.** ブレードカバーを閉じ、手順 1 で取りはずした六角穴付ボルトをブレードカバーの左右どちらかのボルト穴に下側から挿します。



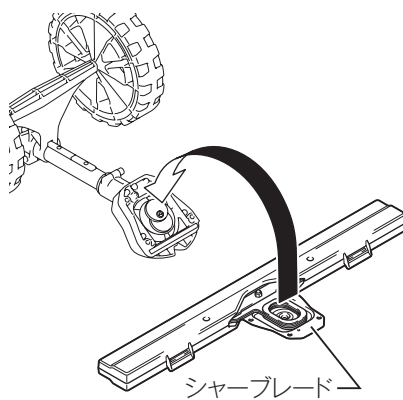
- 4.** 新しいシャープブレードに付属しているグリスを上刃と下刃の長穴内周に塗布します。



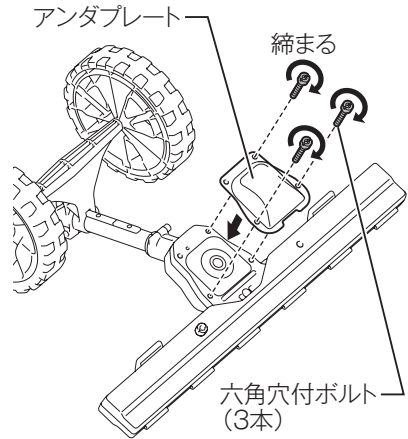
- 5.** マイナスドライバーでクランクを回転させ、クランクが図の指し示す位置になるように調整します。



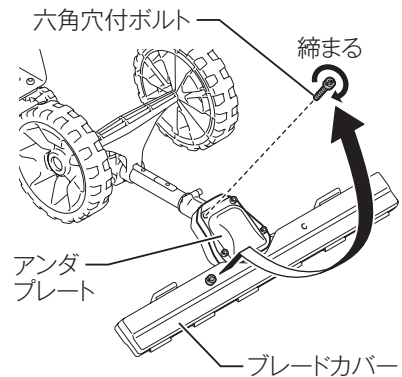
- 6.** シャーブレードを取り付けます。



7. アンダプレートを取り付けます。
8. 取りはずした六角穴付ボルト (3本) を締め付け、アンダプレートを固定します。



9. 手順3でブレードカバーに挿した六角穴付ボルトを取りはずし、アンダプレートを締め付けます。



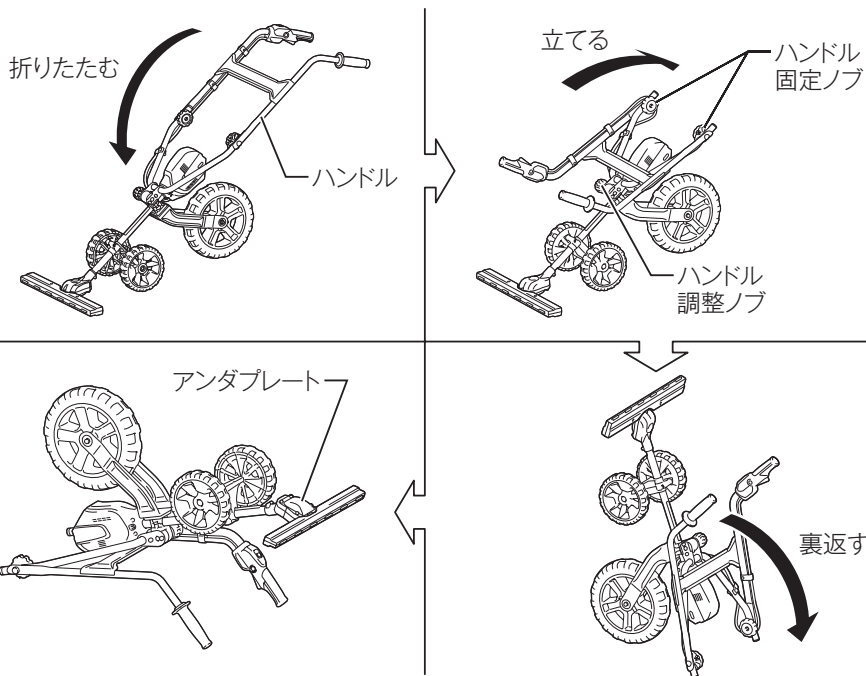
注

- ・シャープブレードが正常に動かない場合は、シャープブレードとクランクのかみ合わせがよくありません。もう一度最初からやり直してください。

グリスの補給

■ シャフト（約 25 時間の作業ごと）

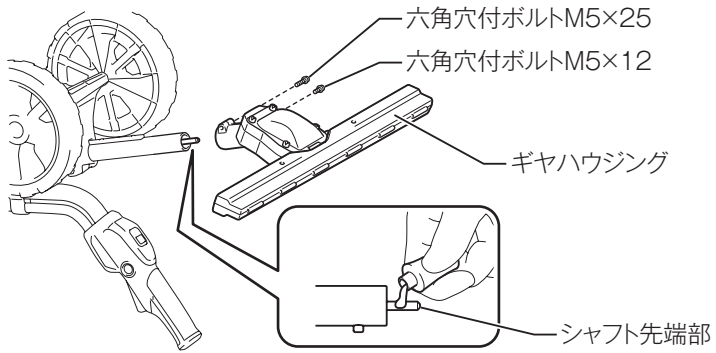
1. 下図のようにハンドルを折りたたみ、本製品をギヤハウジングのアンダプレートが上向きになるように裏返します。
(ハンドルの折りたたみ方については 49 ページを参照してください)



注

- ・ 本製品を折りたたんだ後は、ハンドル調整ノブをしっかりと締め付けてください。
- ・ 本製品を裏返して逆さに置く際は、折りたたんだハンドル部分が倒れないように手でしっかり支えるか、あらかじめハンドル固定ノブを締め付けてください。

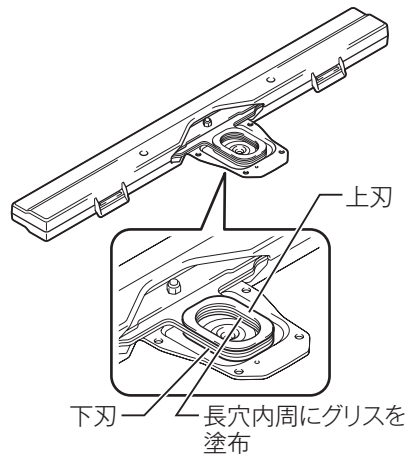
2. 六角棒スパナ 4 で六角穴付ボルト M5 × 25 と、六角穴付ボルト M5 × 12 をゆるめてギヤハウジングを取りはずし、シャフト先端部に指定のグリスを塗布してください。



■ シャープブレード（約 50 時間の作業ごと）

シャープブレードにグリスを補給する場合は、本製品からシャープブレードを取りはずして行います。シャープブレードの取りはずし、取り付けは、53 ページ「シャープブレードの交換方法」を参照してください。

- 指定のグリスを上刃と下刃の長穴内周に塗布します（目安：1.5 g）。



故障かな？と思ったら

トラブルシューティング

症状	原因	対処
電源が入らない。	バッテリーが取り付けしていない。	充電されたバッテリーを差し込んでください。
	バッテリー残容量が少ない。	バッテリーを充電してください。または充電されたバッテリーに交換してください。
	バッテリーの故障。	修理をお申し付けください。
始動後すぐに停止する。	バッテリー残容量が少ない。	バッテリーを充電してください。または充電されたバッテリーに交換してください。
	本製品またはバッテリーが高温になっている。	本製品からバッテリーを取りはずし、本製品またはバッテリーを冷却してください。
シャープブレードの回転速度が遅い。	バッテリーが正しく取り付けしていない。	取扱説明書に従ってバッテリーを正しく取り付けてください。
	バッテリー残容量が少ない。	バッテリーを充電してください。または充電されたバッテリーに交換してください。
	駆動系の異常。	すぐに本製品を停止し、修理をお申し付けください。
シャープブレードが作動しない。	シャープブレードに石や枝などの異物が挟まっている。	すぐに本製品を停止し、バッテリー取りはずしてください。その後、ペンチなどの工具を使って異物を取り除いてください。
	駆動系の異常。	すぐに本製品を停止し、修理をお申し付けください。
異常な振動がする。	シャープブレードが破損、変形、摩耗している。	シャープブレードを交換してください。
	駆動系の異常。	すぐに本製品を停止し、修理をお申し付けください。
シャープブレードや本製品が停止しない。	電気系の異常。	すぐにバッテリーを取りはずして本製品を停止させてください。その後、修理をお申し付けください。

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 34 ページ参照。

ご修理または点検整備の際は

- ・ 修理はご自分でなさらなくて、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、本製品、バッテリー（別販売品）、充電器（別販売品）を一緒にお持ちください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881L57-0

CRE